



JAPAN MONKEY CENTRE

F A X 送 付 状

公益財団法人日本モンキーセンター

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 7枚

送信日 2016年 3月 25日

## リスザルの島と Wao ランド 人気の 2 施設がリニューアル！

リスザルやワオキツネザルがくらす島に入って、同じ空気を感じながら間近で観察できると人気の「リスザルの島」と「Wao ランド」。この 2 施設が、より動物たちを自然に近い空間で観察できるよう、リニューアルしました。

リスザルの島にオープンした「アドベンチャーコース」は、森の中の通路を通り、木々に囲まれながらリスザルを観察できます。自然を活かした通路ですので、ドキドキワクワクしながら通ってみてください。

Wao ランドは、今までデッキ一周できたところを、デッキを取り除き、自由に歩くことができる「WILD ZONE (ワイルドゾーン)」にリニューアルしました。ワオキツネザルたちを探すドキドキや土の感触を楽しむことができます。そして、今まで以上にワオキツネザルたちを近くに感じられることでしょう。人工物が少なくなったので、写真を撮るのにもオススメです。

どちらも冬季の休園日を利用して、飼育員全員が協力し手作りで作り上げた施設です。公益財団法人となった 2014 年から精力的におこなってきた「生息地研修」で感じた動物たちの野生の姿を、お客様に伝えていきたいという思いがこもっています。

天候も春らしくなり、動物たちも活発に活動するようになってきました。春休みに向けた話題として、ぜひご紹介いただければ幸いです。



### リスザルの島 「アドベンチャーコース」の入口

リスザルの島にオープンした「アドベンチャーコース」は、うっそうとした森の入り口から進むと少し開けた場所があります。そこでは、木々に囲まれながらリスザルを観察できます。木々を飛び回り、細い枝を駆けるリスザルの身体能力の高さに驚くことでしょう。自然を活かした通路ですので、足元に気を付けながら、ドキドキワクワクしながら通ってみてください



いつもより間近に観察できるかも！？



### Wao ランド 「WILD ZONE (ワイルドゾーン)」

今まで一周できたところのデッキを取り除き、自由に歩くことができる「WILD ZONE (ワイルドゾーン)」にリニューアルしました。歩くことができる場所の面積は以前と比べ、ほぼ倍増になりました。「WILD ZONE」では、ワオキツネザルたちがどこにいるか探すワクワク、木の下から突然現れるドキドキなど、今まで以上に近く感じられる楽しみを味わうことができます。人工物が少なくなったので、写真を撮るのにもオススメです。



スタッフの手作り看板がお出迎え



**こんな写真も撮れるかも!?**



**触れることはできませんが、こんなに近くで観察できます!**

なお、どちらの施設も天候や動物の状態、植栽保全などのため、お入りいただけないこともございます。あらかじめお問い合わせの上、お越してください。

# ★追加情報★

## 公益財団法人化 2 周年を記念して 4 月 1 日に無料開放いたします！

2014 年 4 月 1 日、日本モンキーセンターは財団法人から公益財団法人へ移行し、新たな体制のもと、飼育霊長類の福祉の向上や、野生霊長類の姿を伝える展示に取り組んでまいりました。

2016 年 4 月 1 日に公益財団法人化 2 周年を迎えるのを記念して、公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園を無料開放いたします。

この機会に、世界最多種の霊長類飼育種数を誇る動物園をご覧ください、霊長類の魅力を感じていただきたく、リスザルの島と Wao ランドのリニューアルオープンと合わせて、みなさまにご案内いただければ幸いです。

## 無料開放 概要

**実施日** : 2016 年 4 月 1 日 (金)

**開園時間** : 10:00~17:00

**※駐車料金は有料です**

**お問い合わせ先** お問い合わせは以下へお願いいたします

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp

担当 : 学術部 高野、赤見、新宅、綿貫、早川、大淵、江藤 附属動物園部 田中、荒木

【参考資料：ワオキツネザルについて】

## ワオキツネザル



英名 Ring-tailed Lemur

学名 *Lemur catta*

CITES I

IUCN VU A1c

分布



マダガスカル島南部

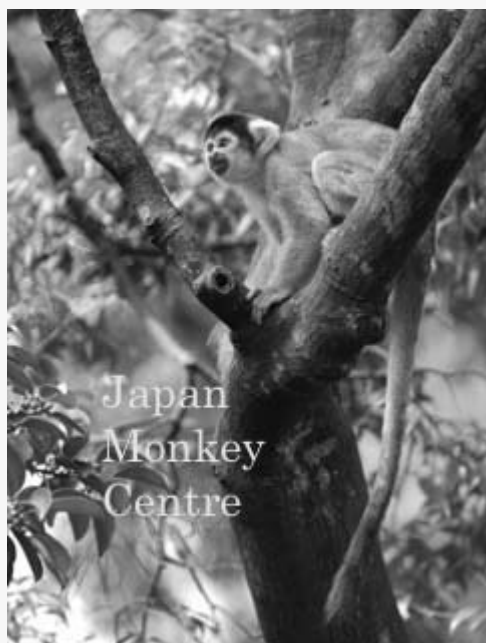
会える場所

Wao ランド

- 体幹と四肢は茶色っぽい灰色で、腹部は白い。
- 顔は白く、目の周囲と鼻が黒い。耳にも白い毛が生える。
- 尾は白と黒の輪が交互に連なっている。名前の「ワオ」は「輪尾」から。
- 種小名の「catta」ネコの意で、ネコのような鳴き声から付けられた。
- 代謝が低く、気温が低いときには日光浴をして体を温める。
- メス優位の複雄複雌の群れをつくる。オスが群れを移籍する。
- 前腕の内側に分泌腺がある。これで匂いづけをする他、長い尾に匂いをつけ、まっすぐ立てて振ることで自らの存在をアピールする。
- オス間、メス間それぞれに順位があり、順位は匂いによる闘争やけんかによって変動する。
- 前肢にくらべて後肢が発達しており、跳躍を得意とする。

【参考資料：ボリビアリスザルについて】

## ボリビアリスザル



英名 Bolivian Squirrel Monkey

学名 *Saimiri boliviensis*

CITES II

IUCN LC

分布



ボリビア、ブラジル、ペルーなどのアマゾン上流域

会える場所 [リスザルの島](#)、南米館

- リスザルはオマキザル類の中でも最も小型のグループで、体重は 700 グラム程度。
- 頭は黒っぽく、目の周りや耳は白くて、手足は黄色。
- 種ごとに額の模様の特徴がある。コモンリスザルなど他のリスザルと比べると、ボリビアリスザルは額の模様が丸いアーチを描いている。
- 頭胴長よりも長く発達した尾をもつが、把握性はない。
- 樹上四足性で、ジャンプを多用する。
- 数十頭からなる複雄複雌の群れをつくる。
- 群れの個体間では音声や嗅覚によるコミュニケーションが見られ、捕食者に対する警戒声を発したり、尿による匂いづけをしたりする。
- 昆虫や果実を主に食べる。日本モンキーセンターのリスザルの島では、虫が鳴くことはない。